

12月23日（火） 第2回 防災訓練



校内での火災発生を想定した防災訓練を実施しました。今回は校務員室から出火したとの想定のもと、出火場所を避けながら安全な避難経路を確認し、全校生徒が屋外コートへ速やかに避難しました。

訓練後には、明石市消防局の消防士の方から講評と防災講話をいただきました。講話では、①冬季は火災が発生しやすく、近年はモバイルバッテリーからの出火が増えていること、特に結露が原因となる場合があるため、寒い場所から暖かい場所へ移動する際には注意が必要であること、②火災による死因の多くは一酸化炭素中毒であり、煙を吸わない行動が命を守る上で重要であることが強調されました。

また、生徒会の生徒を中心に消火訓練も行いました。消火器の正しい使い方に加え、火災発生時の基本的な対処手順（周囲への知らせ方、初期消火の判断）を実体験を通して学びました。

今回の訓練を通して、日常生活の中に潜む火災リスクへの理解を深めるとともに、いざという時に落ち着いて行動する大切さを改めて確認しました。